

藤・戸田  
地区

# 保護司会だより



旧中仙道の宿場町の面影が残る『蕨宿』 —毎年 11 月に開催される宿場まつり—

## 社会とのつながり創り

—創刊をお祝いして—



さいたま保護観察所長

幸島 聡

創刊おめでとうございます。更生保護は、地域で実践されています。

藤・戸田地区保護司会の皆様は、同地区におきまして、更生保護活動を幅広く展開していただいております。

過ちを犯した人も反省し立ち直ろうとする気持ちを持つて、地域での生活を始めます。けれども、生活はいつも順調というわけではありません。小さな不安が大きくなってしまうこともあります。

そんな時、相談相手がいることは、大事なことだと存じます。自分の不安な気持ち、あるいは自分の喜びを伝える相手がいるということはどれほど大切なことでしょうか。

保護司の皆様には、頑なに心を閉ざす人に対して、自然に寄り添い、徐々に気持ちが通い合うことによつて、社会とのつながりを創り出していただいています。

現在、刑務所出所者等の再犯防止が政府の重要な政策課題の一つとなっております。

再犯防止のためには、社会の中につながり創り出すことが必要だと考えます。この糸口を保護司の皆様に生み出していただいているのです。

そして、本人に対する指導に併せて、各人の生活をいかに再建するかという観点から、地方自治体を始め、医療、保健、福祉、教育、労働等多様な分野の方々と効果的に連携を進めていくことが非常に重要となっております。

地域の皆様方による直接又は間接の御支援が各人の社会復帰につながります。

更生保護活動に対する一層の御理解と御支援を心よりお願い申し上げます。



# 祝 辞

## 創刊を祝して



蕨市長  
頼高 英雄

蕨・戸田地区保護司会の機関紙が発行されますことを心からお慶び申し上げます。日頃より更生保護活動や犯罪防止活動、青少年の健全育成をはじめ、市政推進にご尽力

をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。

蕨市では、防犯対策をはじめ、安全安心のまちづくりを最重要課題に位置付け全力をあげておりますが、犯罪をする人を生み出さない、また、社会復帰に向け更生の手助けをする皆様の役割は、大変重要なものです。また、例年実施されている「社会を明るくする運動推進大会」は、更生保護活動への理解を広げ、青少年の健全育成をすすめる上で、とても素晴らしい取り組みです。この機関紙を通じて、犯罪のない明るいまちづくりの輪が更に広がることを期待しております。

## 創刊を祝して



戸田市長  
神保 国男

この度、機関紙が創刊されますことを心からお祝い申し上げます。保護司の皆様方には、日ごろより地域の犯罪予防活動に多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

例年、保護司の皆様には、「社会を明るくする運動」や、「学校との連携活動」等の犯罪予防活動を実施いただいております。依然として、市内における少年犯罪の検挙数は高く、犯罪の低年齢化が叫ばれておりますが、これらの地道な活動が、犯罪防止への一層重要な役割を担っていることは言うまでもありません。

行政におきましても、関係機関や学校等との連携を強化し、安心・安全なまちづくりの実現に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。本機関紙が犯罪のないまちづくりの一翼を担われますことを切に祈念しております。

## 発刊にあたり



蕨・戸田地区保護司会  
会長 三輪 一榮

この度、蕨・戸田地区保護司会で、市民の皆様にも更生保護事業或いは保護司の仕事についてご理解いただきたく、会報を発行することになりました。

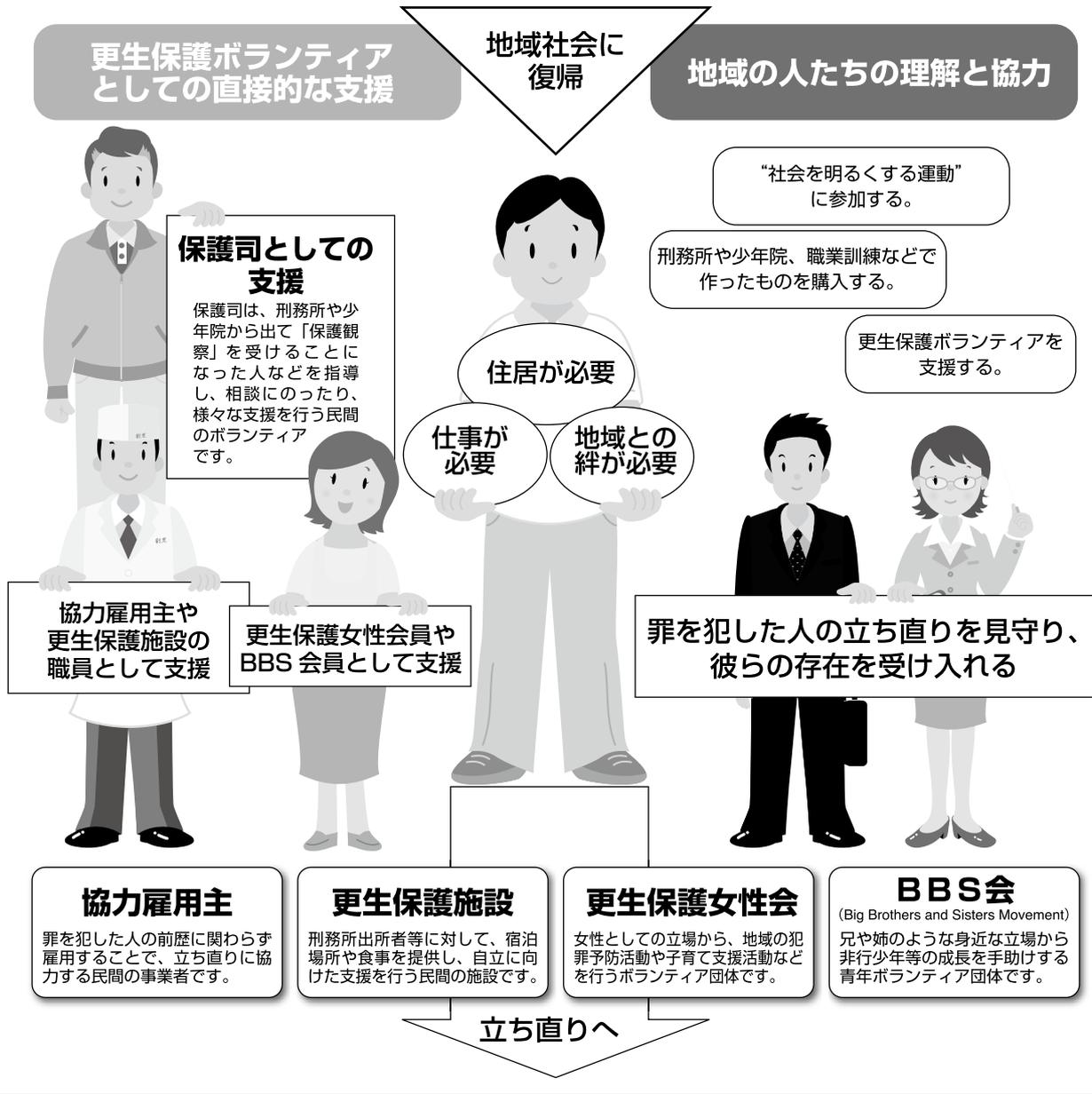
保護司の仕事は大きく分けて二つあります。一つは、犯罪や非行をしてしまった人が、スムーズに社会復帰できるように、改善更生を手助けすること。二つ目は、犯罪や非行のない社会づくりのための啓発活動です。現在蕨・戸田地区保護司会では58名の保護司が、各地域で日夜活動を続けております。

私が保護司を拝命した昭和59年頃は、自分が保護司であることが地域の方にわからないと言われておりました。平成11年に保護司法が改定され、保護司は積極的に地域活動に参加し、更生保護事業を理解してもらうよう方向転換されました。『社会を明るくする運動』の充実、学校との連携、就労支援、生活困窮者への対応等々保護司の果たす役割は一層重くなっております。しかしながら、個々の保護司の力など微々たるものであります。そこで保護司の力量を充分に発揮させるには、地域の力(理解)、行政の力(協力)が不可欠であります。

この度の会報発行が、その一助になればと願っております。

# 更生保護：立ち直りを支えるしくみ

罪を犯した人たちの立ち直りを助け、  
再び犯罪や非行に陥るのを防ぐしくみを更生保護といいます。



非行の背景に見えるもの

戸田支部 本橋 恵子

「頭の毛を掴まれ、部屋中引きずり回されて…」

「痛かったでしょ！ でも、されるままにしていたの？」

「反抗すればバットで殴られるから…母は新しいお父さんに気を遣い…私の居場所はないんです…」と、うつむきながらボソボソと語った少女は、間もなく消息を絶ってしまいました。その後、しばらくの間、人混みに入ると無意識のうちに彼女の姿を探している私がいきました。

これは一例にすぎませんが、「非行少年」と呼ばれる子どもたちの背景には、必ずと言ってよいほど恵まれない家庭環境、貧困が存在すると言っても過言ではないと思います。

たとえ突っ張りながらも精一杯生きようとしている多くの少年たちと出会ってきました。彼らの、救いを求めるような視線に出会ったりしているうちに、いつの間にか、少年たちが無性に愛おしく感じられるようになってしまったのです。

少年たちの心にどこまで寄り添えるか全く自信はありませんが、もう少し、共に歩んでみたいと思います。

# 活 動 報 告

## 視察修

### 松本少年刑務所



平成25年5月21日、松本少年刑務所へ研修に伺いました。刑事施設である少年刑務所は国内に7か所あり、松本少年刑務所には、日本で唯一のまた世界的にも例のない公立中学校が併設されています。全国の受刑者の中から義務教育を修了していない勉学希望の強い人が選ばれてきます。

昭和28年当時、収容中の少年受刑者のうち約8割が義務教育を終えず、学力は大変低い状態にありましたが、自分の過ちを正す意欲を呼び起した。昭和40年代までは20歳前後の青年が占めていましたが、現在は50・60歳代の生徒も入学し高年齢化しています。1年間の中学校課程ですが小学校の学習内容を随時取りあげたり、一人ひとりに合った確実な力が身につくように工夫しています。受刑者によって中学校の卒業証書を受けたのちに刑務作業などの刑に戻ることになりません。刑務作業は木彫り制作、金属加工、組み立て、印刷、自動車整備などを実施しています。映画「塀の中の中学校」のモデルになった施設ですが、このような恵まれた環境で一生懸命な少年たちの姿を見ることができ、保護観察をする私たちの心にとっかりと残りました。彼らが二度と同じ過ちを犯さない強い気持ちで更生してほしいと願い施設をあとにしました。

(松本市公式ホームページより一部引用)  
(細井)

## 社会を明るくする運動

### 蕨地区



蕨地区保護司会では7月5日に市民会館101号室にて「社明大会」を開催しました。幼児教育が専門の汐見稔幸先生を講師にお招きして「現代の子どもの育ち方：どこに問題が？」の話でした。子育て中の親、地域の方々約300名のご参加を頂きました。(泉山)

### 戸田地区



7月1日市内3駅で、戸田市長はじめ、保護司・更生保護女性会員・担当課職員48名が参加し、保護司会名入りボールペンとウェットティッシュ計4500個を配布し、非行防止活動を実施しました。また市庁舎屋上に社明運動の横断幕を掲揚し、広報車による非行防止の呼びかけも行いました。(奥墨)

## 学校との連携

保護司と蕨・戸田市内の中学校9校で各地域ごとに連絡会を夏休目前、冬休み前の年2回行っています。学校に何うと中学生たちの明るく気持ちの良いあいさつで迎えられます。話し合いの前に校長、教頭先生の案内で各教室を授業参観して回ります。参観では、生徒たちが前を向いて授業に集中している、自習の教室でもそれぞれが課題に真剣に取り組んでいる姿に感心しています。時には顔見知りの生徒たちが挨拶をしてくれます。その後、校長先生、教頭先生から生徒指導に関する諸問題について、学期を振り返って等の報告があります。保護司からは地元中学生の様子、あるいは中学生の時保護観察を受けていた子のその後や、卒業生の保護観察状況等をお互いに胸襟を開いて話し合いを行っています。

学校と保護司が共通の認識を持つことが保護司活動にとってとても助かっています。  
(泉山)



## 【ケース体験記】

## 忘れられない一言



蕨・戸田地区保護司会

細田 昌宏

私が保護司の委嘱を受けて間もなく、地区保護司会の県外研修がありました。松本少年刑務所の視察でした。視察後、別所温泉の宿に泊まりました。宿の周りにはいくつかのお寺があり、そのいくつかのお寺の中に、国宝八角三重塔がある安楽寺というお寺へ行きました。本堂の前に何枚かの教訓が書かれた色紙がありました。その教訓書一枚にこのような事が書かれていました。「たった一言があなたの心を暖める。たった一言があなたの心を傷つける。」という文言がありました。私はその文言に非常に感銘を受け、これだなと思い一枚買って来ました。保護司

になったからには面接には十分に言葉の注意をしなければいけないと心に誓った時でした。

その後、何年か経過したところで、私の所に保護観察所から電話がありました。内容は、「一<sup>（注）</sup>号の少年を担当して頂けませんか」と、未だ保護司になってそれ程経験がなかった為、不安でいっぱいでした。担当する少年はまだ中学生でした。罪は「窃盗」でした。いつも面接の時、寂しそうで余り多くを語ろうともしませんでした。ある時、何でも良いから思っている事を言ってみると話しかけてみると、突然「俺、3人目の親父は居らねーよ」と言いまし

た。私はその時、少年の言葉が良く分かりませんでした。その後、何回か少年と話をしているうちに分かって来ました。その少年の母親は夫と離婚、少年を連れて再婚し二度目の夫の間に娘が生まれ、又離婚、現在3人目となる彼氏と同居している由、少年は俺の居場所がないと言いました。その後、私は母親と面会し、少年の気持ちを伝え、もつと少年に愛情を掛けるよう話しましたが、母親の反応は彼に生活の一部を援助して貰っているし、今の生活を変える事は難しいということでした。

母親として生きるのか、それとも女性として生きるのかどっちも大事だが、何が正しいのか、又、何が正しく無いのか、本当に人間は複雑だなどと思いました。少年の内面が分かるだけに可哀想と思いました。少年は母の気を引く為、自分に構って欲しかったのではないかと、それにしても少年が言ったあの一言を決して忘れる事が出来ません。今でもその時の状況が脳裏に焼き付いています。

「更生保護さいたま」第184号より転載

※注 一<sup>（注）</sup>号観察とは「保護観察処分少年」と呼ばれる。「家庭裁判所により、保護観察に付された少年」。

## 瀬戸山賞受賞

平成25年9月25日東京日経ホールで開催されました『平成25年度保護司等中央研修会』において、蕨・戸田地区保護司会が「瀬戸山賞」を受賞しました。法務、文部、建設大臣の要職を歴任された故瀬戸山三男氏は、我が国の更生保護事業に大変貢献されました。瀬戸山賞とは、その瀬戸山氏のご遺徳を偲び、毎年更生保護事業に貢献された個人・団体を表彰するものです。本年は全国で4団体、1個人が受賞しました。

蕨・戸田地区保護司会では平成8年1月から実施しております社会参加活動、社会貢献活動が評価されての受賞となりました。埼玉県内の保護司会としては初の受賞ということ

です。  
(山内)



埼玉県更生保護大会にて

# 第60回埼玉県更生保護大会開催される



平成25年11月8日立冬快晴の中、埼玉会館大ホールにおきまして第60回埼玉県更生保護大会が開催されました。県下の更生保護関係者1160名が一堂に会し、功労者の顕彰が行われ、更生保護制度の充実と発展が期されました。

式典に先立って行われた講演は——東日本大震災を乗り越えて、いま私たちは——「このころの復興と支えあいの中で」を宮城県石巻の奥野昭典保護司、「負けてたまつか!」と題して福島県双葉の堀内美智子元保護司がお話をされました。復興は道半ばであり、引き続きの支援が必要であると痛感させられました。表彰式では当会から法務大臣表彰2名を含む12名が受賞されました。おめでとうございました。(長瀬)

### 法務大臣表彰

- 奥墨 芳枝(戸田)
- 柳 宣子(蕨)

### 全国保護司連盟理事長表彰

- 秋元 豊子(戸田)
- 泉山 高子(蕨)

### 関東地方更生保護委員会委員長表彰

- 島田 幸昌(戸田)
- 日名田 實(戸田)
- 山屋 玲子(戸田)

### 関東地方保護司連盟会長表彰

- 山本 久枝(戸田)

### さいたま保護観察所長表彰

- 細田 忠良(戸田)
- 荘 智子(戸田)

### 埼玉県保護司連合会長表彰

- 瀧澤 林三(蕨)
- 平井 恵子(蕨)

## 保護司の異動

- 退任 八木橋春儀(戸田)
- 退任 飯島 義雄(戸田)

### 退任にあたり

八木橋 春儀

私は平成2年5月に保護司の拝命を受けて以来、退任する迄の長期間にわたり、皆様方には大変お世話になりました。楽しい事もありました。共に過ごした体験の思い出がなつかしく思い出されます。

皆様方には今後とも、蕨・戸田地区保護司会発展の為に、更なるご活躍を祈念申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

### 新任保護司からひとこと

峰岸 誠(戸田)

この度保護司を引き受け、私にこの重責が務まるか不安です。先輩、関係者の方々のご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

湯沢 保紀(蕨)

本年度、新たに保護司の委嘱をいただきました蕨の湯沢と申します。職の重責を受け止め、精一杯精進し

て参ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

藤井 道子(蕨)

8年程前より、蕨更生保護女性会にて活動をしておりますが、これからは、保護司として今までの活動がお役に立てるよう、頑張りたいと存じます。

荘 良明(戸田)

保護司をさせていただきまます荘です。皆様の助言をいただき微力ながら地域社会に貢献していきたいと考えております。

平山 憲司(蕨)

このたび皆様の推薦を頂き就任することになりました。身にあまる重責で不安でいっぱいですが、ご期待に添うよう努力いたす所存です。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

### 編集後記

### 編集委員

- 創刊発行に際し、女性陣に深謝。今後、会報を関係諸団体や協力者に配布し、保護司活動にご理解いただくとともに、犯罪防止活動にお役立ていただけると幸いです。(長瀬)
- 泉山 高子
- 奥住美千子
- 奥墨 芳枝
- 長瀬 文雄
- 細井 玲子
- 三輪 一榮
- 本橋 恵子
- 山内 俊和